

令和7年度 横浜水取沢高等学校 国際交流（ニュージーランド）の取組

国際連携 G

1. 取組の経緯と概要

本校では令和3年度からニュージーランドのリットンハイスクールと交流を行っている。オンラインでの交流を経て、令和6年度にはリットンハイスクールの生徒及び教員の訪問を受け入れた。その際には本校の生徒宅へのホームステイや、国際交流委員による歓迎会の実施、授業への参加を通し、多くの生徒が英語によるコミュニケーションを取り、異文化への関心を高めている様子が見られた。

今年度は本校の生徒及び教員がリットンハイスクールを訪問した。4月から希望生徒の募集と説明会を実施し、リットンハイスクールの生徒とのオンライン交流も複数回実施した。訪問は7月25日（金）から8月3日（日）で、帰国後は11月の英語プレゼンテーションコンテスト内での成果報告会や、10月、12月の中学生向け学校説明会を通して、現地での体験を振り返る機会を設けた。また、参加した生徒たちは英語の授業をはじめ、日々の学校生活により一層、前向きに取り組んでいる様子である。

2. 今年度の取組の日程

生徒対象 説明会	4月15日（火）
申し込み期間	4月16日（水）～4月23日（水）
選考のための面接審査	4月25日（金）～4月30日（水）
選考結果の通知	5月8日（木）
保護者説明会	5月19日（月）
オンライン交流①（全体交流 自己紹介等）	6月13日（金）
オンライン交流② （全体交流 ギズボーンでの生活について）	6月18日（水）
オンライン交流③（ホストファミリーと各自交流）	6月下旬（個別で実施）
事前学習会① （ホストファミリーへのメッセージ作成等）	7月1日（火）
事前学習会② （自主行動 班分け）	7月8日（火）
事前学習会③ （自主行動 行動計画作成）	7月11日（金）
直前説明会（業者）	7月22日（火）
ニュージーランド リットンハイスクール訪問交流	7月25日（金）～8月3日（日）
訪問交流 成果報告会 （英語プレゼンテーションコンテスト内）	11月12日（水）

3. 訪問交流の詳細

今年度の訪問交流参加者は以下の通り。

1年生：11名、2年生：6名、3年生：2名、引率教員：2名

日程：7月25日（金）～8月3日（日）

日付	主な場所	主な内容	宿泊
7/25（金）	成田空港→ オークランド	移動	機中泊
7/26（土）	オークランド	オークランド観光	Copthorne Hotel Auckland City
7/27（日）	オークランド→ ギズボーン	移動 マオリ文化体験	Marae （マオリ伝統の集会所）
7/28（月） ～31（木）	ギズボーン	リットンハイスクール で授業・体験学習	ホームステイ泊
8/1（金）	ギズボーン→ ロトルア	移動	Distinction Rotorua
8/2（土）	ロトルア→ オークランド	移動 市内自主研修	Holiday Inn Auckland Airport
8/3（日）	オークランド →成田	移動	





4. 事後アンケート（15 名が回答） 【4：そう思う～1：そう思わない】

- ・今回の訪問交流を終えて、「英語の勉強を（もっと）頑張ろう」という気持ちを高めることができた

4	3	2	1
13 名	2 名	0 名	0 名

- ・今回の訪問交流を終えて、「自分の進路について（さらに）真剣に考えよう」という気持ちを高めることができた

4	3	2	1
10 名	5 名	0 名	0 名

- ・今回の訪問交流を終えて、「将来、海外で勉強してみたい」という気持ちを持った

4	3	2	1
10 名	3 名	1 名	1 名

- ・今回の訪問交流を終えて、「将来、国際的に活躍する人材になりたい」という気持ちを持つことができた

4	3	2	1
13 名	4 名	1 名	0 名

5. 生徒の振り返りより

- ・ニュージーランド訪問交流を通して異文化に触れ、挑戦する大切さを学びました。この経験を生かして学校生活では積極的に行動し、進路活動では自分の可能性を広げる選択をしていきたいです。将来に向けても国際的な視野を持ち、前向きに努力を続けていこうと思いました。
- ・ニュージーランドの交流校の人たちと直接、交流し、同じ時間を共に過ごすことができて楽しかったです。自分の英語が現地の人に通じて、笑顔が返ってきたとき、とても嬉しくて、自信にもつながりました。普段の授業や家での自主学習で学んだ英語が実際に役立ったことが嬉しく、もっと勉強したいと思うようになりました。
- ・今回の交流では貴重な体験をすることができた。マラエに泊まるのは特に面白い体験で、素晴らしい景色を見ることができたし、マオリ族の歌をみんなで歌ったり、共同生活を体験したりできて楽しかった。
- ・今までのどの海外旅行よりも英語を話して現地の人とコミュニケーションをとれた。おかげでたくさんのことを教えてもらった。

6. 今後の展望

令和3年度より交流を行ってきたリットンハイスクールへの初の訪問を行った。昨年度の受け入れに引き続き、充実した対面での交流を行うことができた。参加した生徒のおよそ半数が初めての海外訪問であったが、事前指導の段階から入念に準備を進め、今回の訪問を経て英語学習への前向きな姿勢がさらに高まったと考えられる。次回の訪問に向けては今回の実施内容を基によりブラッシュアップし、リットンハイスクール及び本校の双方の生徒、学校にとって貴重な機会となるよう発展させていきたい。また、令和8年4月には再びリットンハイスクールが本校を訪問する予定である。その際には、今回の交流で築いたつながりをさらに広げ、有意義な機会としていきたい。